

## 平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	再生可能資源有効利用に向けた触媒的結合開裂反応の開発
研究代表者	野崎 京子 (東京大学・大学院工学系研究科・教授) ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成34年度
コメント	<p>本研究は、リグニンや油脂など、再生可能資源ではあるが、今まで有効に利用されてこなかった難分解性化合物を小さな分子に分解し、資源化するための基礎研究を目的としたものである。バイオマス資源の有効利用の点から独自性や創造性が認められ、また、有機合成化学に新たな概念が生まれる可能性がある。本研究の進展は、有機化学や有機金属化学分野のみならず、触媒化学、有機工業化学などの分野にも影響を与え得るものである。</p> <p>応募者は、これまでの研究活動において、小分子の活性化に関して世界でも有数の研究業績を上げており、本研究を遂行し、大きな研究成果を上げることが期待できる。</p>